

質問

個々の補助金について具体的な見直しはどのように行われてきたか。また、補助金の可否はどこで決しているのか。

補助金について



倉又 稔
議員

市長答弁

補助金の見直しについては、行政改革大綱・実施計画において「補助金・負担金等の適正化と整理、再編」を推進項目の一つとして位置づけ、見直し方針に基づき、補助金全般にわたる見直しを進めるとともに、全市的な制度の統一を図ってきた。個々の補助金については、総合計画実施計画や予算編成作業を通じて、必要性や妥当性などについて見直しを行うとともに、予算執行時においても補助額の妥当性などについて確認、見直しを行っている。

質問

当市におけるいじめの実態について、いじめの重大事態

いじめ防止対策の第三者委員会設置について

補助金の可否については、補助金交付申請の内容を精査するとともに、必要によりヒアリングを行い、対象事業の必要性や公益性などについて審査を行い、その可否を決定している。

教育長答弁

委員は、主に人権、法律、教育及び青少年の健全育成に見識を有する第三者から選任しており、開催状況については、委員会を2回、調査を5回行っている。

の調査のため、第三者委員会を設置したことは適切な措置と考えるが、すでに設置されている第三者委員会の、委員の選任基準、開催状況、教育委員会とのかわり、調査報告等について伺う。

教育委員会は公平・中立を期するため、調査そのものには関与せず、第三者委員会が主体的に調査を行っており、調査結果は、いじめを受けた児童生徒及びその保護者に対して提供する。



質問

(1)企画課・海外戦略室の設置など組織機構改革及び民間

市政運営の主要施策の検証と対策について伺います。



五十嵐健一郎
議員

- の活用
- (2) 地域おこし協力隊の受け入れによる地域活性化の取り組み
 - (3) 国の「地方創生」に対する市としての考え方と新たな取り組み
 - (4) 市民協働定住促進体制づくりと市職員の意識改革
 - (5) 新エネルギー導入支援事業と雪室の設置・海中貯蔵の利活用
 - (6) ジオパークプラスアルファの新たな目玉となる広域観光開発とストーリー性の創出
 - (7) 大学・高校等との連携による

- る研究成果と対策
- (8) シティプロモーション戦略の推進と、アプリを使ったイベント告知
- 市長答弁
- (1) 当市における重要課題に対応するため、組織機構の見直し検討を進めている。また、事務事業の効率的な推進を図るため、さらなる民間活用についても検討していく。
 - (2) 平成27年度から、地域活性化策に取り組む地区に配置したいと考えている。

- (3) 市としても「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定していきたいと考えている。
- (4) 庁内の連携を図りながら、各部署が移住・定住の視点を持って事業を推進していく。
- (5) 新エネルギーの可能性調査を行っており、雪室については、上早川地区の利用組合に対し支援していく。
- (6) 新幹線の活用とジオパークのストーリー性で演出することにより、新たな魅力のある広域観光商品の開発を進めていく。

- (7) 富山大学及び新潟大学が、当市を対象に行う医療分野での臨床研究への支援を行い、その臨床研究結果が市の健診や保健対策等に生かされている。
- (8) ジオパーク戦略プロジェクトを推進する中で、当市の知名度の向上につなげていく。また、現在のアプリにはイベント告知の機能はないが、様々なメディアを通じて情報発信していきたいと考えている。